



## 2024年9月期 決算説明資料

株式会社グローバルキッズCOMPANY 2024年11月14日

## 将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考になると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

※本資料の著作権は株式会社グローバルキッズCOMPANYに属し、その目的を問わず無断で複製、引用することを禁じます。

## 2024年9月期決算ハイライト

### 2024年9月期 第4四半期業績

- 施設譲渡・閉鎖の影響により前年同期比減収
  - 売上高 6,258百万円 (前年同期比-4.3%)
- 職員配置適正化、施設譲渡・閉鎖や派遣費用の減少等が寄与し、EBITDAは前年同期比増益
  - EBITDA 364百万円 (前年同期比+4.1%)

### 2024年9月期 通期業績

- 売上高はおはようキッズ完全子会社化が通期で寄与し前期比5.2%増収
  - 売上高 26,448百万円 (前期比+5.2%)
- 職員配置適正化等により保育新年度となる第3四半期以降の収支が大幅改善、不採算施設の譲渡・閉鎖やおはようキッズ完全子会社化も寄与しEBITDAは大幅増、通期では過去最高を達成
  - EBITDA 1,618百万円 (前期比+40.8%)

### 2025年9月期 通期業績予想

- 売上高は譲渡・閉鎖の影響で微減見込み。EBITDAは、収支改善施策の効果が引き続き寄与し前期比8.1%増を想定。
  - 売上高 25,800百万円 (前期比-2.5%)
  - EBITDA 1,750百万円 (前期比+8.1%)
  - 配当 1株当たり40円 (前期比+5円)

2024年9月期 決算の概要	4
2025年9月期 業績見通し	17
中期経営計画(2024)の振返り	19
付属資料	21

## 2024年9月期 決算の概要



## 2024年9月期 業績概要

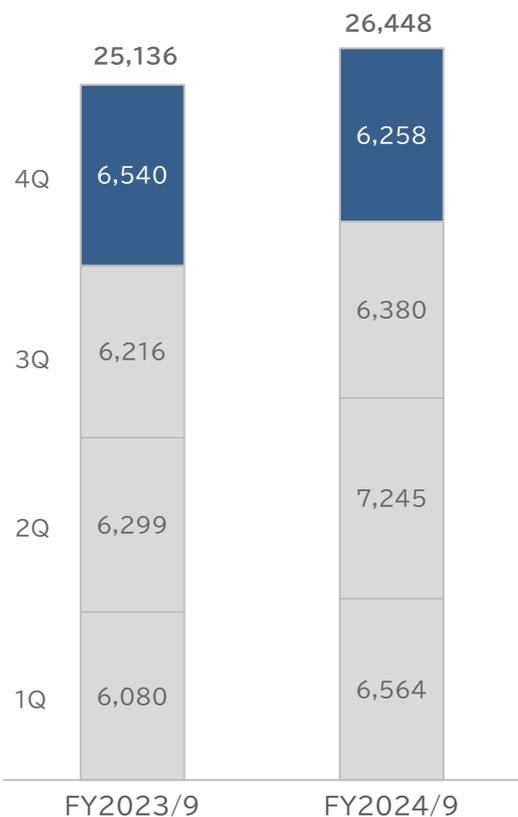
### 2024年9月期 通期連結業績概要(百万円)

	FY2023/9	対売上高	FY2024/9	対売上高	前期比
売上高	25,136	-	26,448	-	+5.2%
売上総利益	2,085	8.3%	2,665	10.1%	+27.8%
EBITDA	1,150	4.6%	1,618	6.1%	+40.8%
営業利益	341	1.4%	789	3.0%	+131.6%
経常利益	321	1.3%	820	3.1%	+155.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	-55	-0.2%	256	1.0%	-

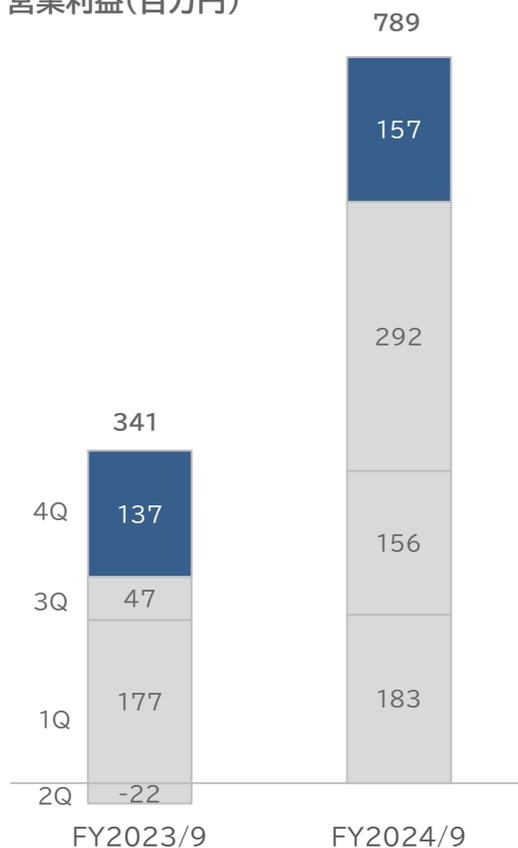
## 売上高、営業利益、親会社に帰属する当期純利益

第4四半期の業績は売上高が減少するも、営業利益は前年同期比+14.9%。親会社に帰属する当期純利益も+10.1%増益。通期の業績は前期比増収増益。営業利益は前期比131.6%増の789百万円、期初予想比+75.5%。

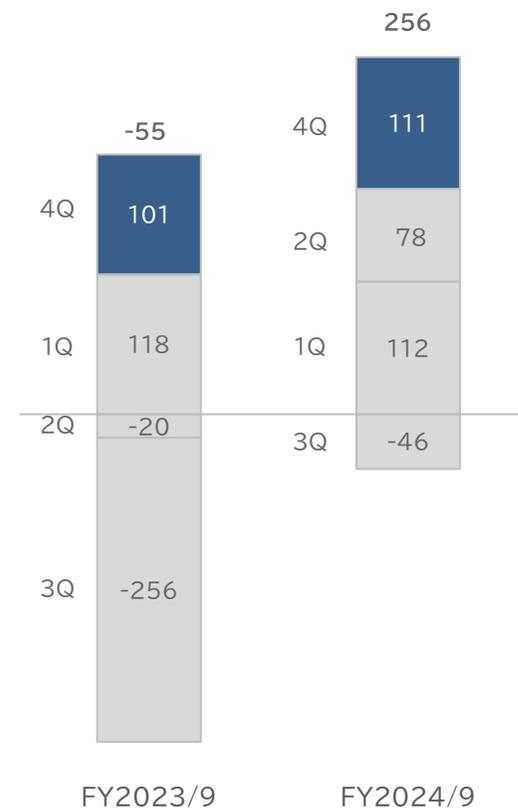
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)

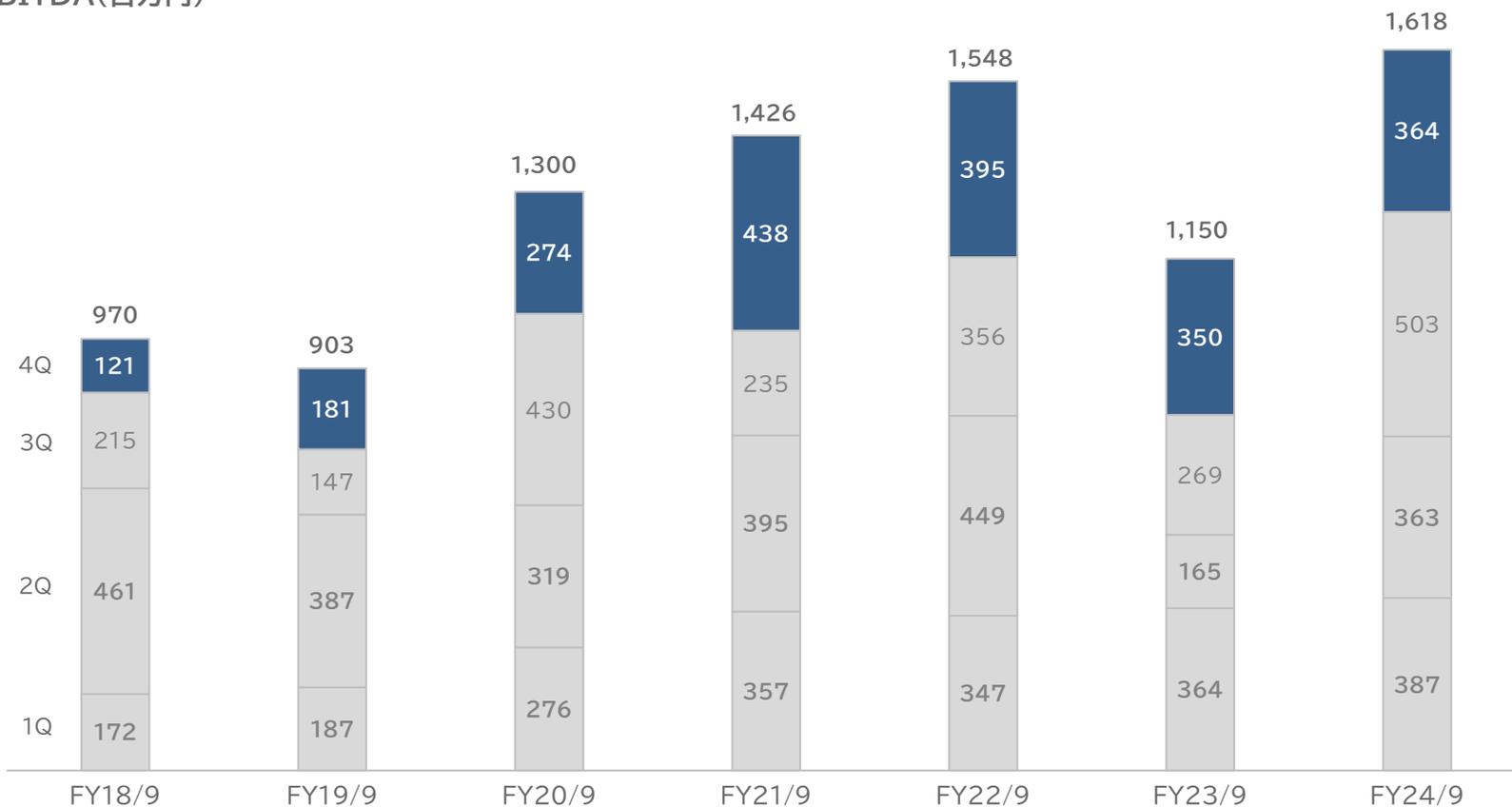


# EBITDA

第4四半期のEBITDAは364百万円。

通期では下期の改善が寄与し、前期比+40.8%、期初予想比+24.5%の1,618百万円と過去最高を達成。

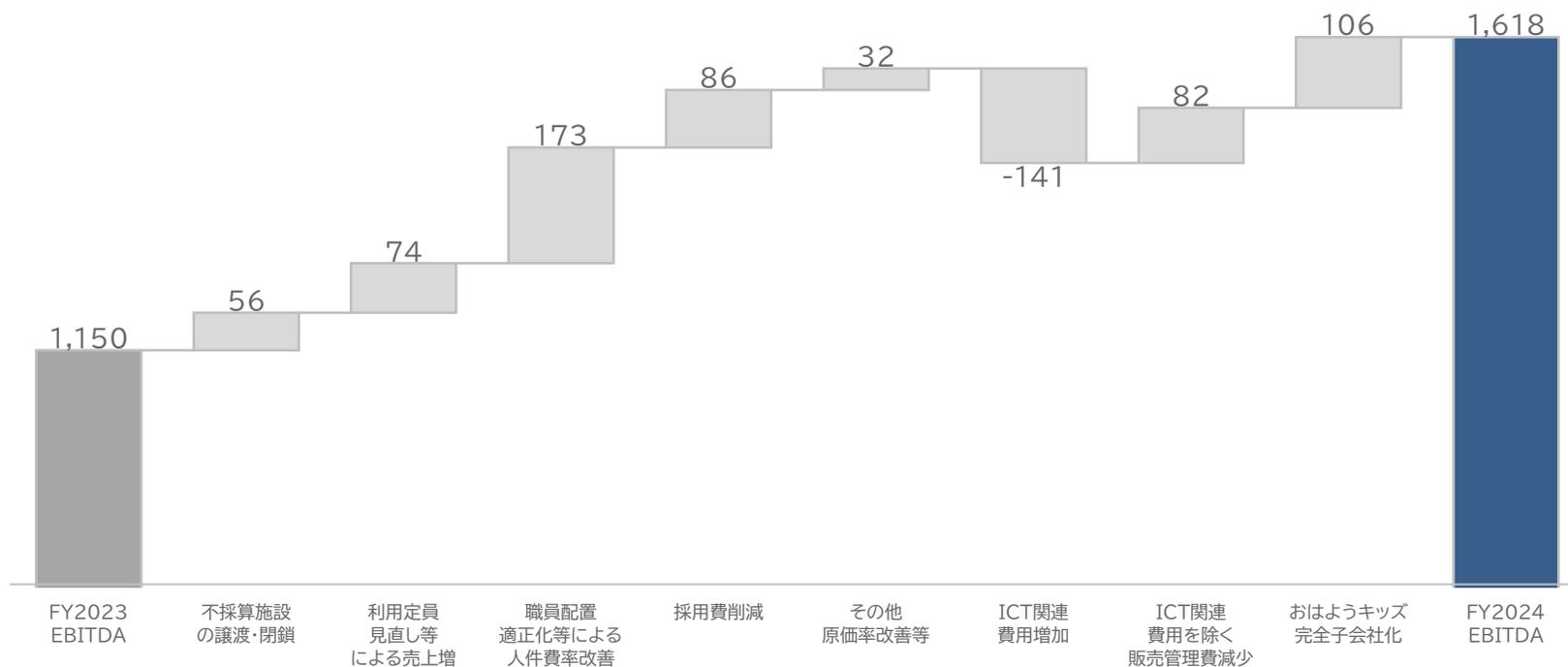
EBITDA(百万円)



## EBITDA変動要因

戦略的に積み増しているICT関連費用増加が影響する一方、職員配置適正化や利用定員見直し等の収支改善施策の進捗、不採算施設譲渡・閉鎖に加え、おはようキッズの完全子会社化が通期で寄与、EBITDAは大幅増加。

EBITDA変動要因(百万円)

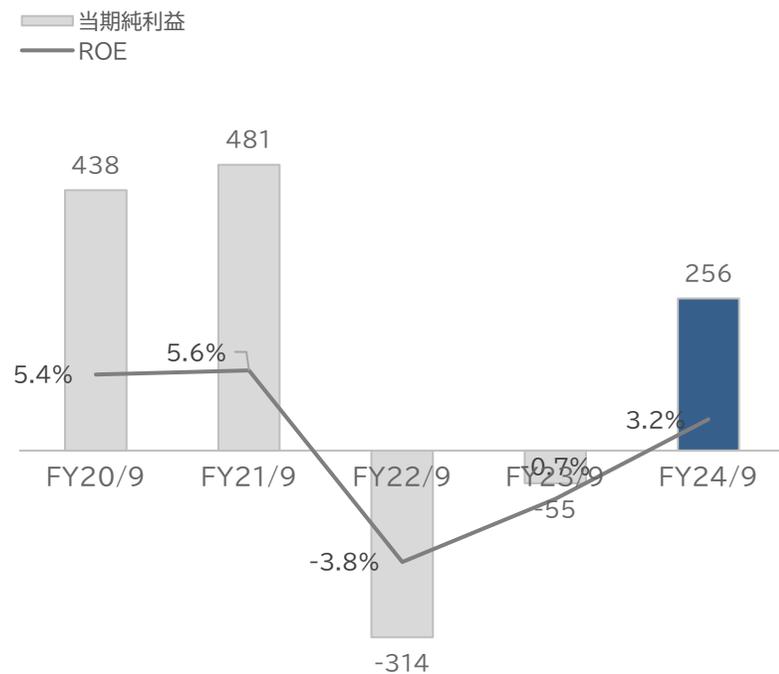


注:「おはようキッズ完全子会社化」以外の各変動要因は「おはようキッズ完全子会社化」の影響を除いた金額

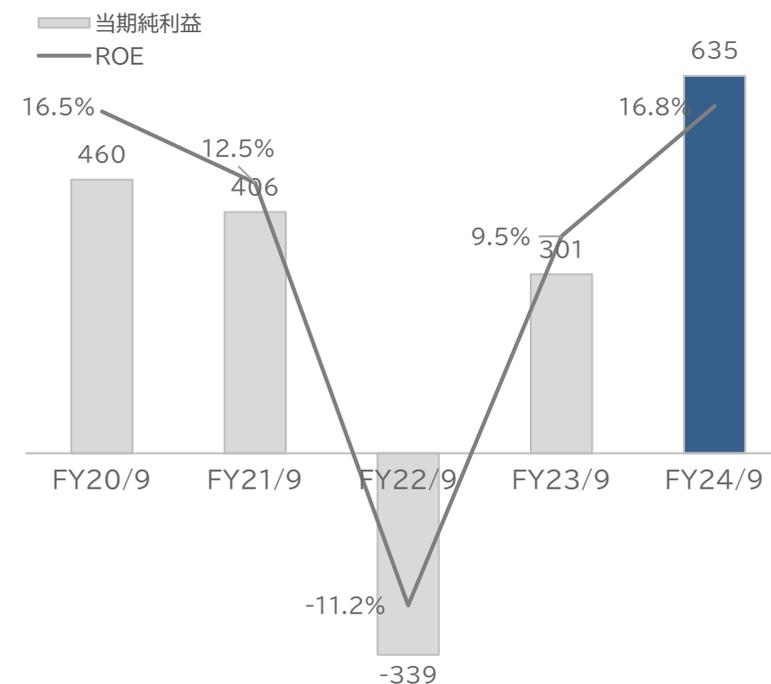
## 修正当期純利益、修正ROE

ROEは足元では改善傾向。修正ROEは資本コストレンジ(7-8%)を上回る水準。

### 当期純利益、ROE



### 修正当期純利益、修正ROE



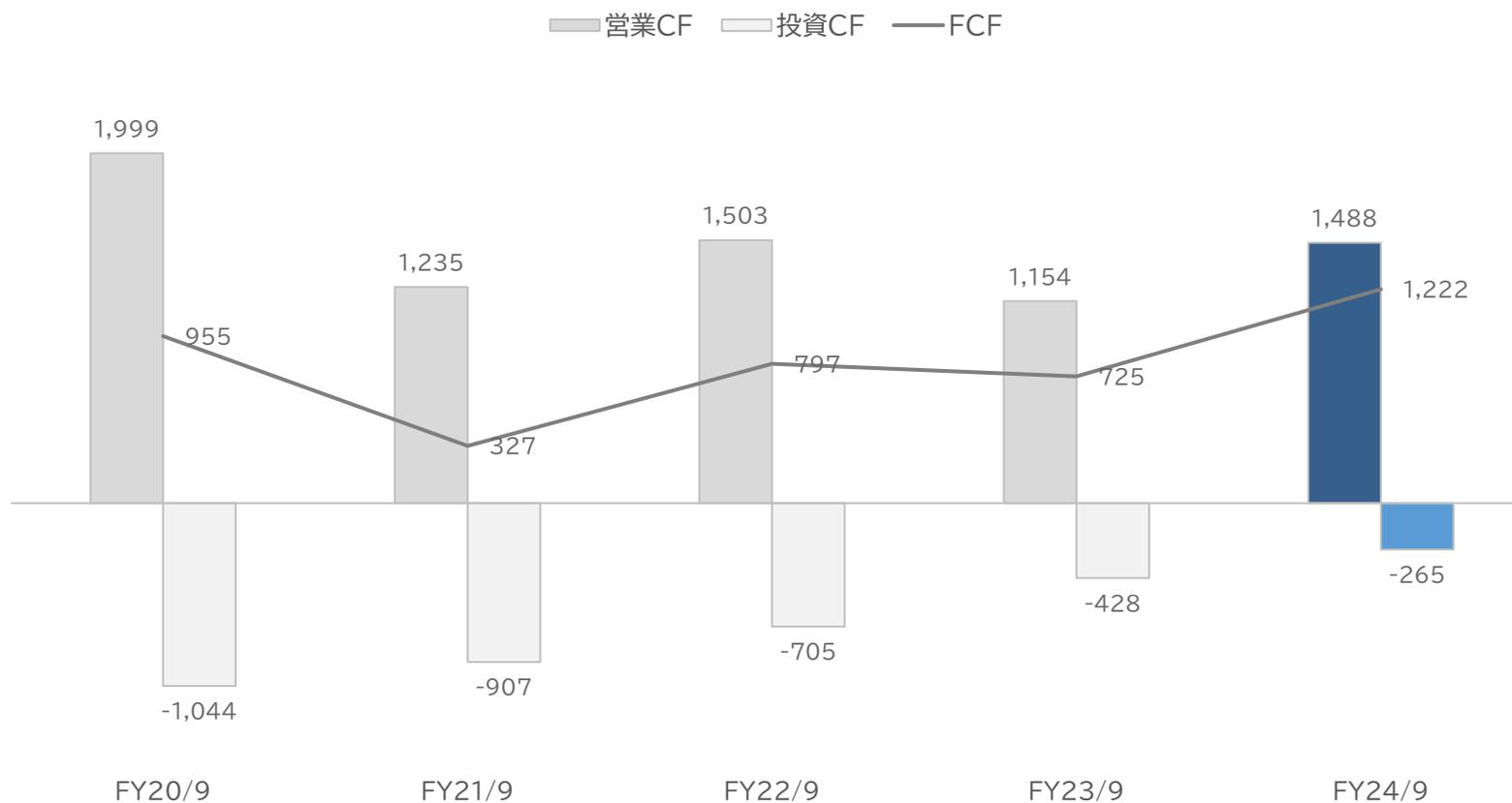
### 修正当期純利益、修正ROE

- 修正当期純利益: 自治体からの補助金で固定資産を取得した際、補助金の額を控除した額を固定資産計上する会計処理(「直接減額方式」)に基づいた当期純利益
- 修正ROE: 修正当期純利益を「直接減額方式」に基づいた修正純資産で除したROE
- 当社は財務会計において補助金控除前の金額を固定資産計上する「剰余金処分方式」を採用。同方式においては「直接減額方式」と比較し減価償却費が多くなる
- 新規開設がない状態が継続すると、ROEと修正ROEは何れ収斂

## フリーキャッシュフロー（FCF）

フリーキャッシュフローは、当期純利益の増加、法人税の支払額減少が寄与し前期比496百万円増加と過去最高を更新。

フリーキャッシュフロー（FCF）（百万円）



## 売上高：保育事業施設数

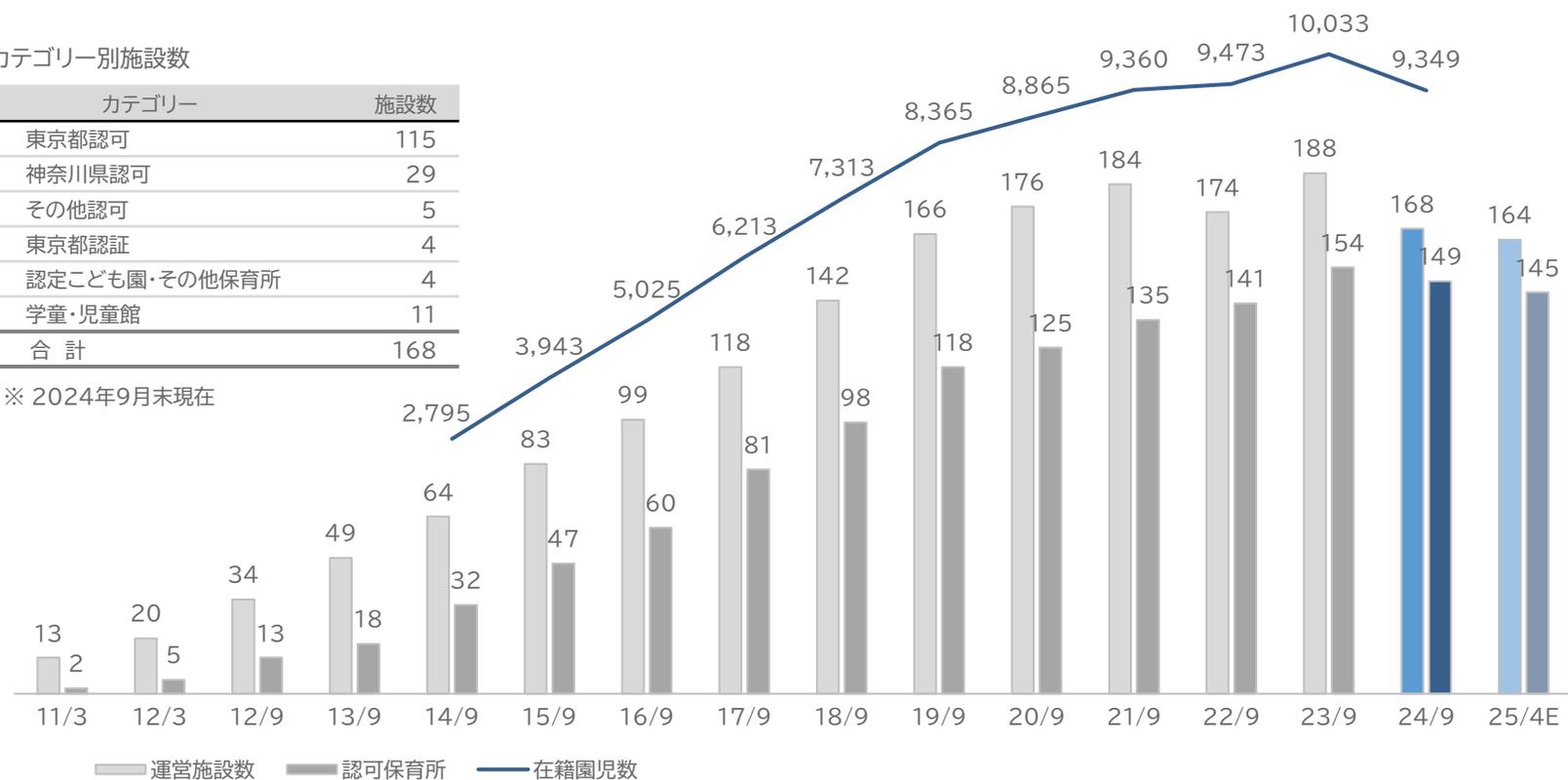
2024年3月末および4月1日に保育施設20施設を譲渡・閉鎖、学童1施設の受託を終了。一方、学童1施設を新規受託。  
2025年3月末に東京都認可1施設を閉鎖、2025年4月1日に千葉県認可2施設、埼玉県認可1施設を譲渡予定。

### 施設数、園児数推移

カテゴリ別施設数

カテゴリ	施設数
東京都認可	115
神奈川県認可	29
その他認可	5
東京都認証	4
認定こども園・その他保育所	4
学童・児童館	11
合計	168

※ 2024年9月末現在



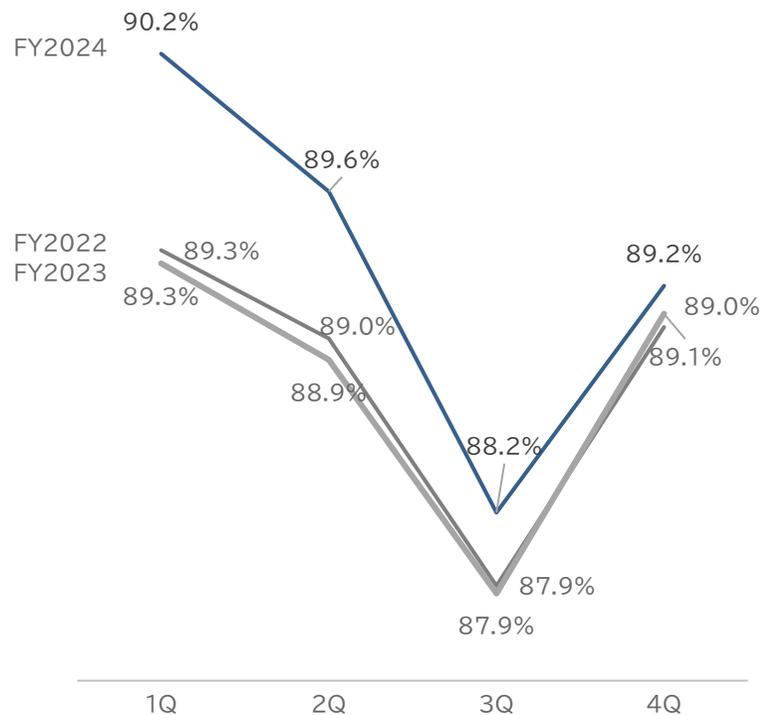
注：施設数は、保育所、学童・児童館の合計。在籍園児数は、保育所のみ

## 売上高：入所率

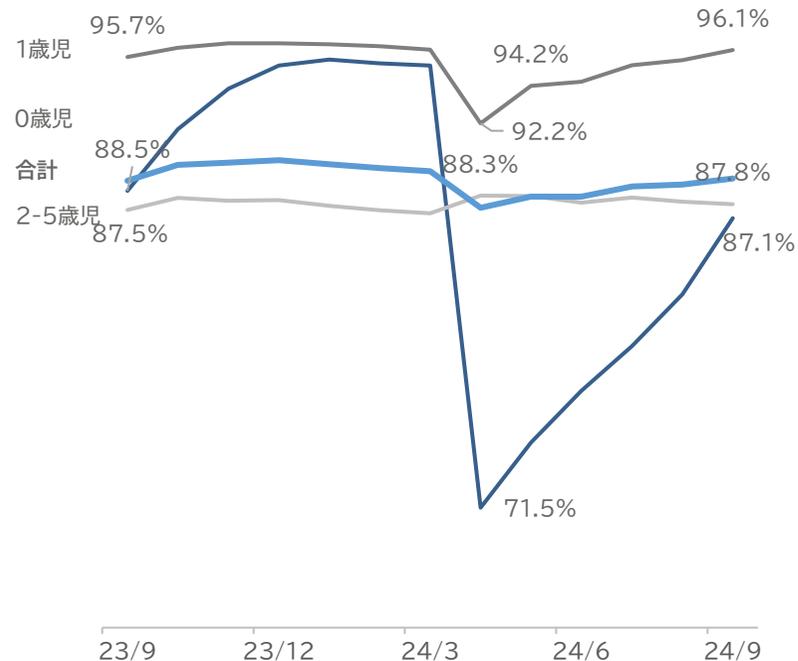
第4四半期の入所率は、利用定員見直しに加えて施設譲渡・閉鎖の寄与もあり前年同期比1.1pt改善。

歳児別では、4月に低下した0歳児の入所率が順調に回復。

### 保育所合計



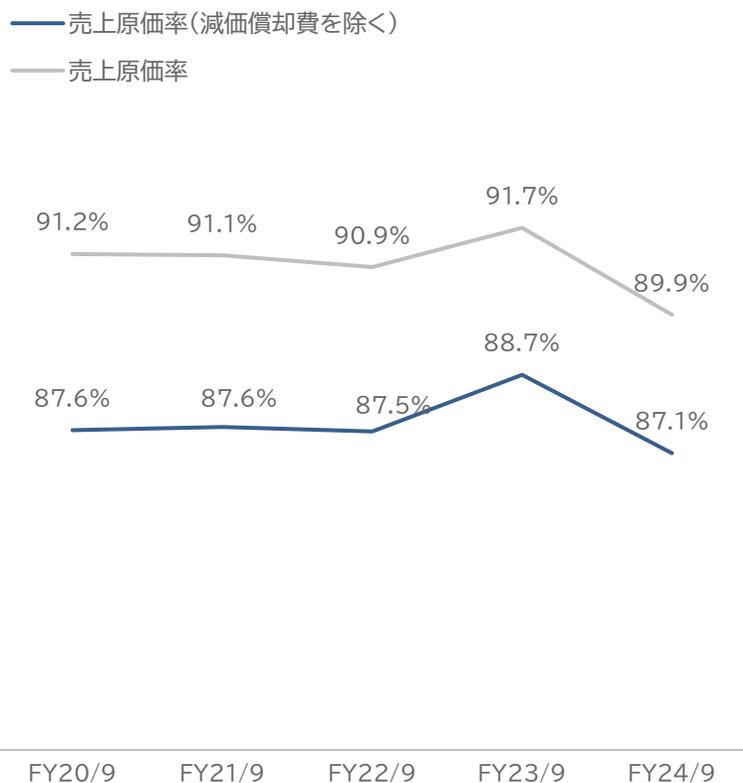
### 歳児別



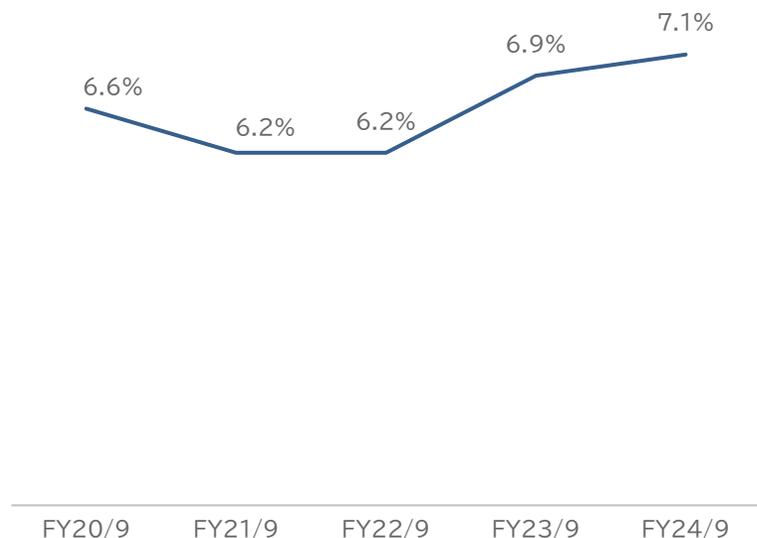
## 売上原価率・販売管理費率

売上原価率は、職員配置適正化による人件費率改善や不採算施設の譲渡・閉鎖、採用費削減等が寄与、前期比1.8pt改善。  
販売管理費率は、ICT費用積み増しにより上昇。

### 売上原価率



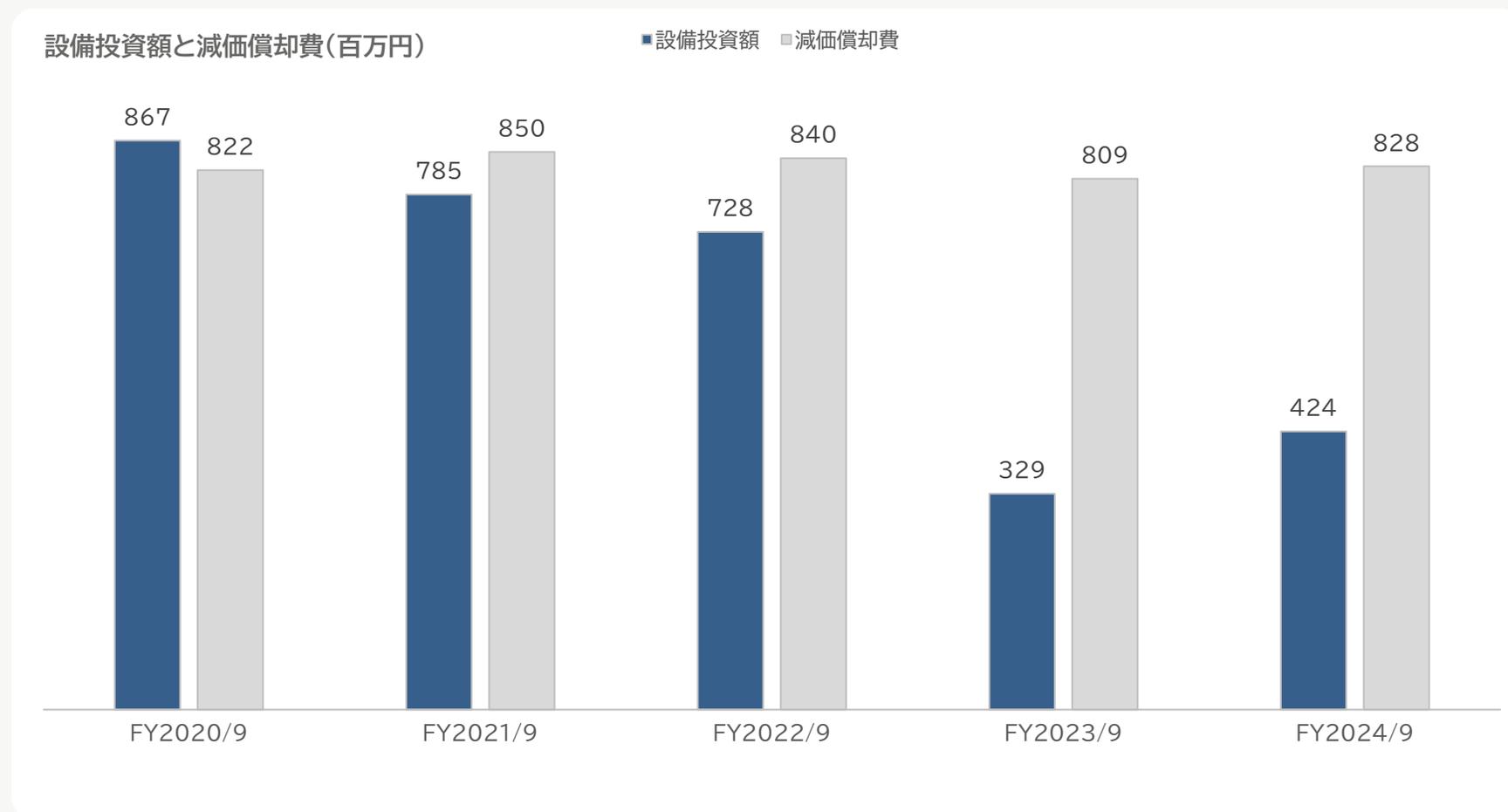
### 販売管理費率



注: FY23/9に会計方針を見直し、施設に係る租税公課及び採用広告費を販売管理費から売上原価計上に変更。FY22/9以前は同様のベースに調整

## 設備投資、減価償却費

安心安全を担保するために各施設に見守りカメラを設置。また、一部施設の移転もあり設備投資額が増加。

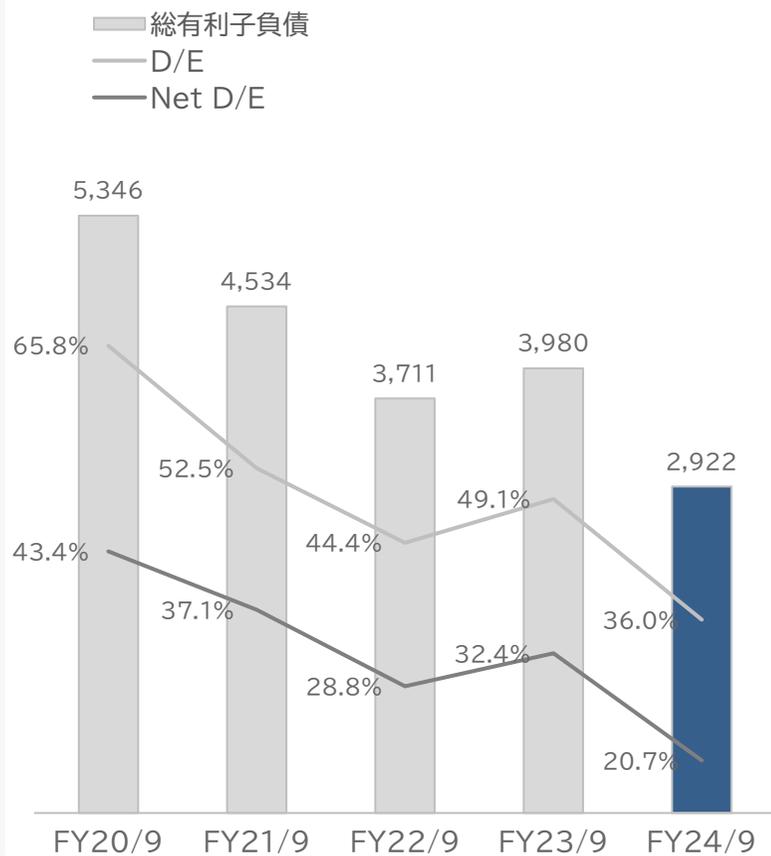


注:設備投資額は、有形固定資産のキャッシュアウトベース

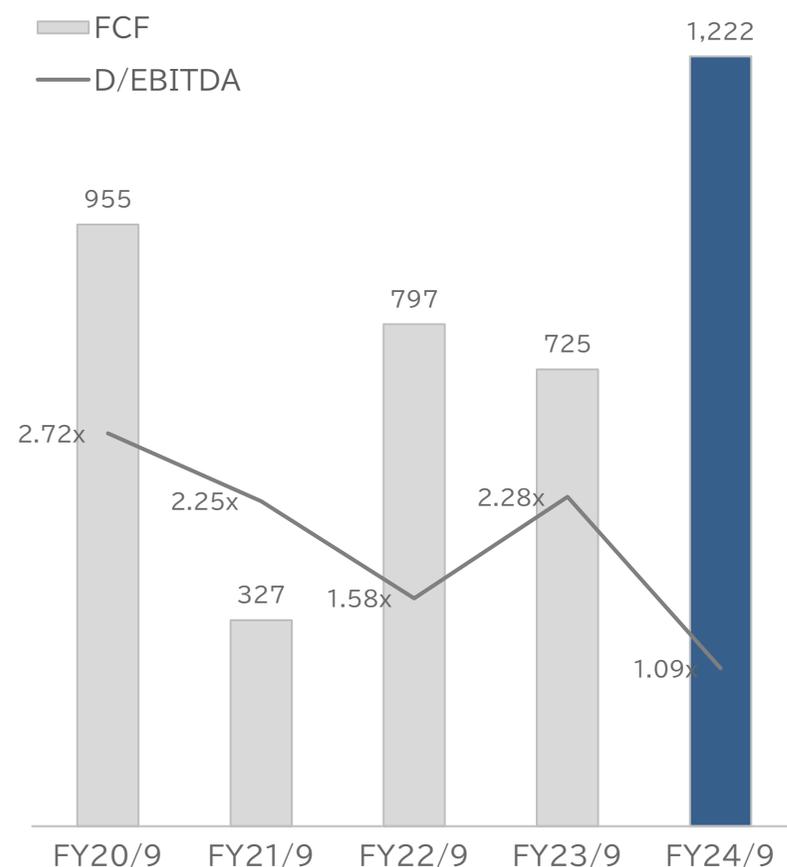
## 財務健全性

2024年9月期は、FCF増加に伴い有利子負債が減少。D/Eレシオ、D/EBITDAとも大きく低下し、財務健全性は大幅に改善。

D/Eレシオ、総有利子負債(百万円)



D/EBITDA、FCF(百万円)



## ICT戦略

デジタル基盤構築により、ICTを活用した業務品質・効率化の向上については着実に進捗。

### デジタル基盤構築

- 新人事システム導入により、職員情報の一元管理を実現、関連業務の品質及び生産性が大幅に改善
- エンジニアバックグラウンドのデジタル人財を新たに採用、ICT戦略推進体制を強化

### デジタル活用による業務改革の推進

- 職員配置管理・選考管理システムの利用が定着し、他施策と併せて本部管理業務の改善・改革が進展
- 業務品質向上・効率化施策として、売上管理業務、法定点検管理業務、行政監査管理業務を新たにシステム化
- 情報ポータルやチャットツール(Slack)を全職員へ展開し、コミュニケーション環境を改善

## 2025年9月期 業績見通し

## 2025年9月期 業績見通し

2025年9月期の売上高は一部施設の譲渡・閉鎖の影響により微減を想定。職員配置適正化、不採算施設譲渡・閉鎖が寄与しEBITDA、営業利益とも過去最高益を更新する見込み。親会社に帰属する当期純利益は、特別損失減少を見込み大幅増加を予想。配当は財務状況および収支状況を勘案し5円増配、中間配当を実施予定。

(百万円)	FY2024/9 実績	FY2025/9 予想	前期比
売上高	26,448	25,800	-2.5%
EBITDA	1,618	1,750	+8.1%
営業利益	789	950	+20.3%
経常利益	820	920	+12.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	256	600	+133.9%
1株当たり配当金	35円	40円	+5円

## 中期経営計画(2024)の振り返り



## 中期経営計画(2024)の振り返り

### ● 総括

- 売上高は保育事業及び新規事業何れも計画に届かず目標の31,000百万円に対し4,551百万円の未達、EBITDAは保育事業の収支改善が進むも目標の2,100百万円に届かず

	2024/9(中計目標)	2024/9(実績)	達成率
売上高	31,000	26,448	85.3%
EBITDA	2,100	1,618	77.1%

- 過去の不正事案発覚を契機としガバナンス改革を実行。行動倫理宣言を策定し企業風土改革の取り組みを継続

### ● 保育事業

- 不採算施設の譲渡・閉鎖を行う一方、M&A(買収)は1案件(おはようキッズ社)にとどまり、売上高は1,699百万円の未達
- 利用定員・職員配置適正化等、収支改善策の進捗により足元の収益性は回復しているも、過去3年で営業利益率0.5pt、EBITDAマージン0.1pt改善に留まる

### ● 新規事業

- 習いごと教室の「GlobalKids Plus +」、スノーピーク社との連携による野外教育活動「キッズキャンプ」等、新たなサービス提供をスタートするも収益化には道半ば

### ● ICT

- システム運用の高度化、情報セキュリティ強化等、デジタル基盤の整備に目処。人事システム刷新やSalesforce導入による業務効率化に一定の進捗

### ● 財務・資本

- 収支改善に伴うFCFの増加、キャッシュマネジメントの改善により財務健全性は大幅に改善
- 2024年9月期配当予定は35円、2022年9月期より3期連続で増配

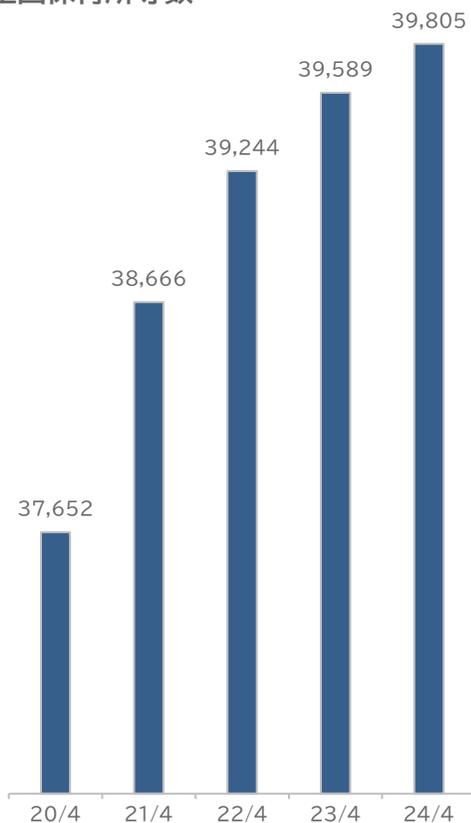
## 付属資料

## 運営施設数の内訳

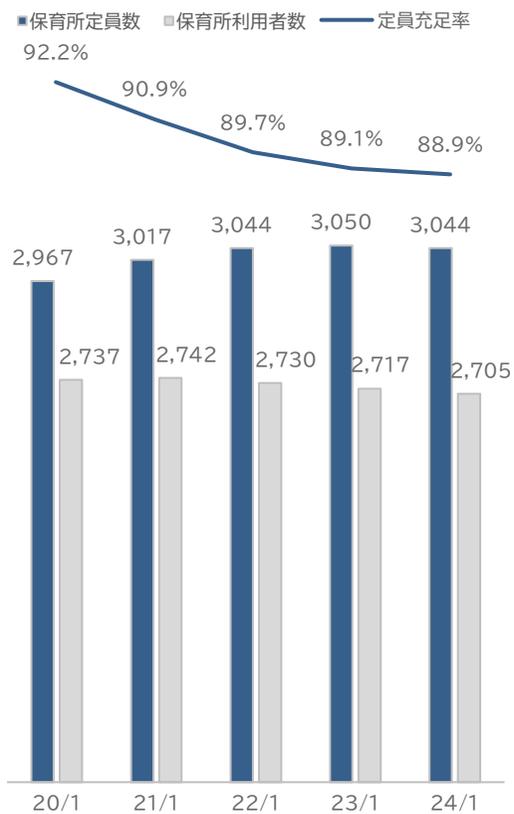
	FY15/9	FY16/9	FY17/9	FY18/9	FY19/9	FY20/9	FY21/9	FY22/9	FY23/9	FY24/9	FY25/9E
認可(東京都)	28	38	56	70	86	91	98	103	115	115	114
認可(神奈川県)	16	17	19	20	23	25	27	28	29	29	29
認可(その他)	3	5	6	8	9	9	10	10	10	5	2
東京都認証	21	22	20	20	17	17	16	15	15	4	4
認定こども園・ その他保育所	5	6	5	5	6	6	6	5	7	4	4
企業主導型	-	-	-	7	11	11	11	-	1	-	-
学童・児童館	10	11	12	12	13	13	12	10	11	11	11
児童発達支援	-	-	-	-	1	4	4	3	-	-	-
合計	83	99	118	142	166	176	184	174	188	168	164

# 保育所数、定員充足率、待機児童数

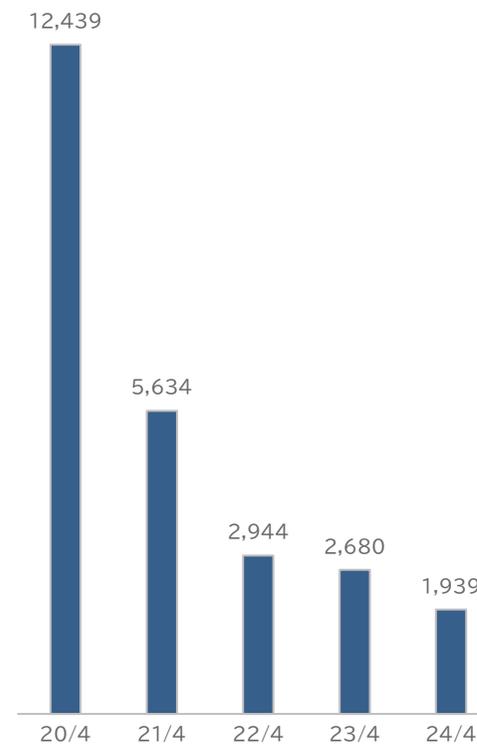
## 全国保育所等数



## 全国保育所の定員と利用状況(千人)



## 全国待機児童数(人)



## 保育サービス売上高ランキング

	社名	売上高(百万円)
1	JPホールディングス	35,507
2	ライク	29,047
3	グローバルキッズCOMPANY	26,448
4	こどもの森	26,304
5	ポピンズ	24,569
6	アイグラン	18,558
7	さくらさくプラス	13,844
8	HITOWAキッズライフ	12,217
9	テノ、ホールディングス	10,874
10	ソラスト	9,930

出所:日経MJ。当社、ライクは決算短信

注:当社、JPホールディングス、ライク、さくらさくプラスは、2024年に期末となる決算期の売上高。他社は、2023年に期末となる決算期の売上高

**GlobalKids** 